2024年　第2回　名大本番レベル模試

地理総合，地理探求

採点基準

全3問　90分　200点満点

Ⅰ（50点）

採点基準

問1

(1)　2点

(2)　3点

問2　（基準の合計3点→3点満点）

〔図法の工夫〕海洋部で地図を断裂させている　3点

- 「海の部分で地図に切れ込みを入れている」という内容であれば可
- 「海洋部」への言及がなければ1点

問3

(1)　2点

(2)　2点

問4

(1)　2点

(2)　2点

(3)　各2点

問5

(1)　3点

(2)（基準の合計12点→12点満点）

＊　アによる判断（基準の合計8点→3点満点）

〔アによる判断①〕風力発電には強い風が必須である　2 点
〔アによる判断②〕W は年平均風速が大きい　3 点

- 「W では強い風が吹く」でも可

〔アによる判断③〕Y は年平均風速が小さい　3 点

- 「Y には強い風が吹かない」でも可

＊　イによる判断（基準の合計 9 点→6 点満点）
〔イによる判断①〕W は土地利用度が低い　3 点

- 「W は森林である」「W は農用地である」でも可

〔イによる判断②〕Z は土地利用度が高い　3 点

- 「Z は建物用地である」「Z は住宅地である」でも可

〔イによる判断③〕Z は住民への騒音問題が生じる　3 点

- 「Z」は「Y」でも可
- 「騒音」は「振動」でも可

＊　ウによる判断（基準の合計 3 点→3 点満点）
〔ウによる判断〕X は自然が保護されている地域に含まれる　3 点

- 「W は自然が保護されている地域に含まれない」でも可
- 「自然が保護されている地域」は「自然公園」「国定公園」でも可

問 6（基準の合計 16 点→13 点満点）
＊　リモートセンシングの利点（基準の合計 20 点→10 点満点）
〔リモートセンシングの利点①〕生育状況を素早く把握できる　3 点

- 「素早く」は「効率的に」でも可
- 「素早く」などの意味が欠けた場合は 1 点

〔リモートセンシングの利点②〕生育の悪い箇所に素早く対処できる　2 点

- 「素早く」は「効率的に」「効果的に」「最適に」でも可
- 「素早く」などの意味が欠けた場合は 1 点

〔リモートセンシングの利点③〕病害に素早く対処できる　2 点

- 「病害」は「虫害」「病虫害」でも可
- 「素早く」は「効率的に」「効果的に」「最適に」でも可

〔リモートセンシングの利点④〕労働の負担を軽減できる　3 点
〔リモートセンシングの利点⑤〕作物の収量向上につながる　2 点
〔リモートセンシングの利点⑥〕作物の品質向上につながる　2 点
〔リモートセンシングの利点⑦〕（1 人あたりで）より大規模な田畑を管理できる　3 点
〔リモートセンシングの利点⑧〕農業従事者の減少に対応できる　3 点

- 「減少」は「高齢化」でも可

＊　人工衛星に対するドローンの利点（基準の合計 9 点→6 点満点）

〔ドローンの利点①〕（ドローンでは人工衛星よりも）細かい情報が得られる　3 点

- 「細かい」は「高精度な」でも可

〔ドローンの利点②〕（ドローンでは人工衛星よりも）高頻度で情報が得られる　3 点

- 「高頻度」は「リアルタイム」でも可

〔ドローンの利点③〕（人工衛星とは異なり）雲がかかっている日でも利用できる　3 点

- 「雲がかかっている日でも」は「天候によらず」でも可

問 7　2 点

Ⅱ（70 点）

採点基準

問 1

A　　2 点

B　　2 点

C　　2 点

D　　2 点

問 2

A　　1 点

B　　1 点

C　　1 点

D　　1 点

問 3

A　　2 点

B　　2 点

C　　2 点

判断理由　　（基準の合計 3 点→3 点満点）

〔判断理由 A〕A　偏西風帯に属している国が該当する　3 点

- 「偏西風帯」は「恒常風帯」でも許容

〔判断理由 B〕B　日本における太陽光発電の割合が高い　　3 点

- 「太陽光発電の割合」は「ソーラーパネルの設置割合」でも許容

〔判断理由 C〕C　新期造山帯に位置している国が該当する　　3 点

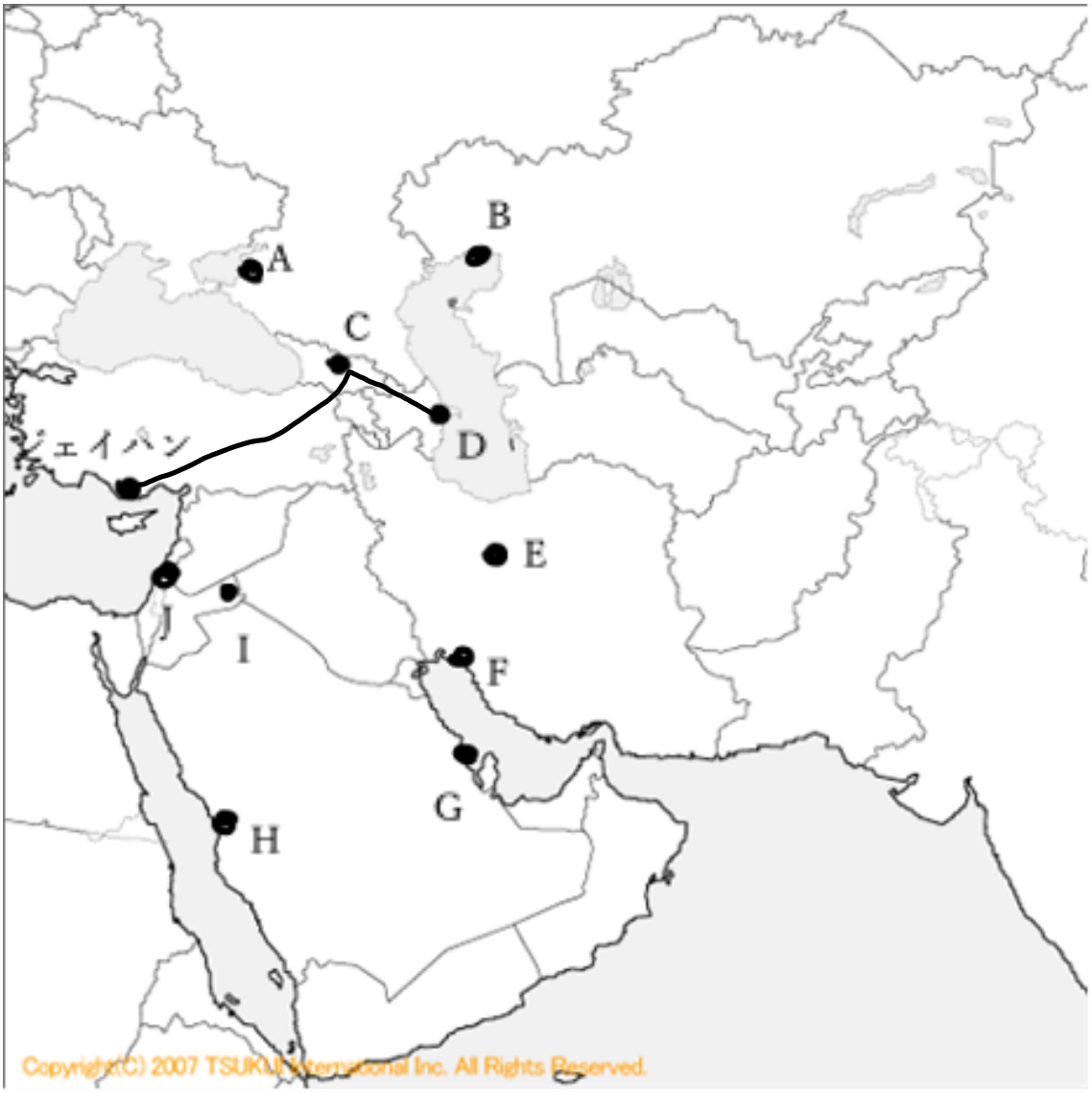
- 「新期造山帯」は「火山帯」でも許容

問 4（基準の合計 4 点→4 点満点）

〔油田の位置〕D（バクー油田）を起点にできている　2 点

〔都市の位置〕D を起点に C（トビリシ）を通過しジェイハンにつなぐ　2 点

- D（バクー油田）を起点にできていない場合は，加点しない



問 5

(1)　2 点

(2)　（基準の合計 12 点→9 点満点）

〔レアメタルの用途〕先端技術産業　3 点

- 「先端技術産業」は「航空機」「電機」「液晶パネル」「電子部品」などの具体例でも許容

〔レアメタルの問題①〕資源が偏在している　2 点

〔レアメタルの問題②〕安定供給が難しい　2 点

- 「価格が安定しない」，「価格変動が大きい」等の表現でも許容

〔日本が講じている策①〕都市鉱山からリサイクル　2 点

- 「都市鉱山」という言葉がなければ，1 点

〔日本が講じている策②〕備蓄をする　1 点

〔日本が講じている策③〕複数の輸入先から輸入する 1 点

- 「輸入先のリスク分散」等の表現でも許容

〔日本が講じている策④〕自国での産出のために開発を進める 1 点

問 6

(1)　2 点

(2)　（基準の合計 15 点→13 点満点）

〔シェールガスの採掘が進まなかった理由〕採掘コストが高い 2 点

- 「コストが高い」は「採掘が困難であった」でも許容

〔シェールガスの採掘が進んだ理由〕技術開発が進んだ　2 点

- 「技術開発が進んだ」は「採掘技術が確立した」でも許容

〔シェールガスの採掘が進んだ地域〕北米地域　2 点

- 「北米地域」は「アメリカ合衆国」でも可

〔シェールガスのポジティブな側面①〕可採年数の増加　2 点

- 「可採年数の増加」は「埋蔵量が増えた」でも許容

〔シェールガスのポジティブな側面②〕天然ガス価格の低下　2 点

- 「価格の低下」は「価格の安定」でも可

〔シェールガスのポジティブな側面③〕天然ガスの供給量が増加　1 点

〔シェールガスのネガティブな側面①〕地下水や地表水の環境汚染　1 点

〔シェールガスのネガティブな側面②〕メタンガスの発生で地球温暖化 2 点

〔シェールガスのネガティブな側面③〕供給過剰と企業間の価格競争による収益悪化　1 点

問 7

(1)　2 点

(2)　（基準の合計 8 点→7 点満点）

〔OPEC 設立の背景①〕先進国に利益を搾取されていた 2 点

- 「先進国」は「メジャー」「欧米諸国」でも許容。以下同じ。

〔OPEC 設立の背景②〕先進国に対抗する形で OPEC が設立　2 点

- 「背景②」が「背景①」の理由である，という関係でなければ，1 点

〔OPEC の目的①〕産油国の政策の調整　2 点

- 「政策」は「産出量の調整」でも許容。
- 「産油国の」は「石油に関する」でも可

〔OPEC の目的②〕石油価格の安定　2 点

- 「価格の安定」は「供給の安定」でも可

問 8　（基準の合計 10 点→10 点満点）

〔ヨーロッパで原子力発電割合が高い国〕フランス　2 点

- 「フランス」は「ウクライナ」「スウェーデン」「ベルギー」「ハンガリー」「スロバキア」でも可。

〔原子力発電事故〕チェルノブイリ原子力発電所事故 2 点

- 「チェルノブイリ」は「チョルノービリ」「スリーマイル島」「ウィンズケール原子炉事故」でも可。

〔原子力発電の抱える課題①〕事故時の環境に対する悪影響　1 点

〔原子力発電の抱える課題②〕放射線による健康被害 1 点

- 「健康被害」は「身体への悪影響」でも可

〔原子力発電の抱える課題③〕放射性廃棄物の処理問題　1 点

- 「放射性廃棄物」は「使用済み燃料」でも可。

〔脱原子力発電に向けた動き①〕ドイツでは脱原発を決めた　1 点

- 「ドイツ」は「スイス」「イタリア」でも可
- 「脱原発」は「新規原発の建設停止」でも可

〔脱原子力発電に向けた動き②〕ほかの発電方法への転換　1 点

- 「ほかの発電方法への転換」は「原子力発電以外の割合を高める」でも可。

〔脱原子力発電に向けた動き③〕（風力発電や水力発電などの）再生可能エネルギー　1 点

- 「風力発電」「水力発電」は「バイオマス発電」「太陽光発電」などでも，また具体例がなくても可。

Ⅲ（80 点）

採点基準

問 1

(1)

① 2 点

② 2 点

③ 2 点

(2)

① 2 点

② 2 点

③ 2 点

(3) 1 点

問 2

(1)

Ⅰ 1 点

Ⅱ 1 点

Ⅲ 1 点

(2) （基準の合計 26 点→21 点満点）

〔開発の内容〕（流域で）アスワンハイダムを建設した 2 点

- ダムの名称を誤っている場合は 1 点

〔開発の目的①〕灌漑を行って綿花栽培を促進する 2 点

- 「灌漑」への言及が欠けた場合は 0 点

〔開発の目的②〕電源を開発する 2 点

〔開発の目的③〕洪水を防止する 2 点

- 「目的①」が「内容」の理由である，という関係でなければ，2 点減点
- 「目的②」が「内容」の理由である，という関係でなければ，2 点減点
- 「目的③」が「内容」の理由である，という関係でなければ，2 点減点

〔開発の結果〕（ヌビア遺跡群が）水没地域に含まれた 2 点

〔遺跡の保護①〕（ヌビア遺跡群を）水没地域外に移転させた 1 点

- 「結果」が「保護①」の理由である，という関係でなければ，0 点

〔遺跡の保護②〕世界遺産条約が締結された 2 点

- 条約の名称を誤っている場合は 1 点

〔環境問題の背景①〕（アスワンハイダムの建設後に）洪水が（大幅に）減少した 2 点

〔環境問題①〕肥沃な土壌が下流に供給されなくなった　2 点
〔環境問題②〕下流の農地で地力が低下した　1 点
〔環境問題③〕海岸が侵食された　1 点
〔環境問題④〕（地中海で）沿岸漁業が不振に陥った　1 点

- 「背景①」が「問題①」の理由である，という関係でなければ，1 点減点
- 「問題①」が「問題②」の理由である，という関係でなければ，1 点減点
- 「問題①」が「問題③」の理由である，という関係でなければ，1 点減点
- 「問題①」が「問題④」の理由である，という関係でなければ，1 点減点

〔環境問題の背景②〕（ナイル川流域で）過剰な灌漑が実施された　2 点
〔環境問題⑤〕塩害が発生した　2 点
〔環境問題⑥〕風土病がまん延している　1 点

- 「背景②」が「問題⑤」の理由である，という関係でなければ，1 点減点
- 「背景②」が「問題⑥」の理由である，という関係でなければ，1 点減点

〔環境問題⑦〕（水路に棲む）寄生虫（によって風土病が媒介される）　1 点

- 「問題⑦」が「問題⑥」の理由である，という関係でなければ，1 点減点

(3)　（基準の合計 13 点→12 点満点）
〔首都の名称〕エルサレム　2 点

- エルサレムではない，と明確に記述されている場合は，全体を 0 点とする

〔文化的価値・都市の歴史①〕キリスト教・イスラム教・ユダヤ教の 3 つの宗教の聖地が集中している　2 点

- 宗教の名称が誤っているものがあれば，誤ったもの 1 つにつき 1 点減点
- （例）「キリスト教・イスラム教・仏教」：1 点

〔文化的価値・都市の歴史②〕歴史的な建築物が多い　1 点

- 「歴史的な建築物」は「重要な文化財」でも可

〔世界情勢①〕イスラエルとパレスチナは紛争を繰り返している　2 点

- 「歴史①」が「情勢①」の理由である，という関係でなければ，1 点減点
- 「繰り返している」という要素が欠けている場合は 1 点
- 「パレスチナ」は「アラブ諸国」でも可

〔世界情勢②〕ユダヤ人とアラブ人が混住している　2 点

- 「情勢②」が「情勢①」の理由である，という関係でなければ，1 点減点
- 「ユダヤ人」は「イスラエル人」でも許容
- 「アラブ人」は「パレスチナ人」でも可

〔世界情勢③〕（ユダヤ人は）ユダヤ教を信仰する　1 点
〔世界情勢④〕（アラブ人は）イスラム教を信仰する　1 点
〔世界遺産登録に関する措置①〕（隣国の）ヨルダンにより（世界遺産への登録が行われた）　1 点

〔世界遺産登録に関する措置②〕（ヨルダンによる登録は）政治的事情に中立でありつつ文化財を保護する（ためである）　1 点

- 「措置②」が「措置①」の理由である，という関係でなければ，1 点減点

問 3

(1)　（基準の合計 15 点→13 点満点）

〔1960 年代の背景①〕西ドイツで労働者が（大幅に）不足していた　2 点

- 「西ドイツ」は「ドイツ」でも可

〔1960 年代の背景②〕（西ドイツは）賃金が高い 1 点

- 「背景②」が「移民①」の理由である，という関係でなければ，1 点減点

〔1960 年代の移民①〕トルコ人が送り出された 1 点

〔1960 年代の移民②〕（トルコ人は）ガストアルバイターとして（送り出された）　2 点

- 「ガストアルバイター」は「外国人労働者」でも可

〔1960 年代の移民③〕（ガストアルバイターは）外国人の単純労働者である　1 点

〔2010 年代の背景①〕シリア内戦が発生した　2 点

〔2010 年代の背景②〕シリア人が難民になってトルコに流入した　2 点

- 「背景①」が「背景②」の理由である，という関係でなければ，1 点減点
- 「難民になった」または「トルコに流入した」のうち片方が欠けていれば 1 点

〔2010 年代の移民①〕（トルコはシリアに）隣接している 1 点

- 「移民①」が「背景②」の理由である，という関係でなければ，1 点減点

〔2010 年代の移民②〕（シリア難民は）トルコを経由して西ヨーロッパ諸国に向かう　2 点

- 「トルコを経由して」という要素がなければ 0 点

〔2010 年代の移民③〕（西ヨーロッパ諸国は）賃金が高い 1 点

- 「移民③」が「移民②」の理由である，という関係でなければ，1 点減点

(2)　（基準の合計 20 点→18 点満点）

〔都市機能の強化の経緯〕（都市機能の強化は）潤沢なオイルマネーの恩恵である　2 点

〔都市機能の強化の内容①〕（従来の）空港が（拡張され）ハブ空港となった　2 点

〔都市機能の強化の内容②〕（ハブ空港は）アジア・ヨーロッパ・南北アフリカ（への路線）をつなぐ　1 点

- 航路の具体名を欠いても可

〔都市機能の強化の内容③〕産業の多角化を推進した　2 点

〔都市機能の強化の内容④〕リゾート開発が行われた　2 点

〔都市機能の強化の内容⑤〕人工島が沿岸部に造成された　2 点

〔都市機能の強化の内容⑥〕中心部に大型商業施設が建設された　1 点

〔都市機能の強化の内容⑦〕金融ハブを誘致した　2 点

〔都市機能の強化の内容⑧〕証券取引所を開設した　1 点

〔都市機能の強化の内容⑨〕アルミニウム精錬所を建設した　　2 点

- 「内容③」が「内容④」の理由である，または，「内容③」が「内容⑦」の理由である，または，「内容③」が「内容⑨」の理由である，という関係でなければ，2 点減点

〔都市機能の強化の内容⑩〕（豊富な）石油を利用する　　2 点

〔都市機能の強化の内容⑪〕精錬するためのエネルギーを得る　　1 点

- 「内容⑪」が「内容⑩」の理由である，という関係でなければ，1 点減点